

山形県高等学校サイエンスフォーラム

山形県教育委員会では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」事業の一環として、今年度より「やまがたサイエンスコーチ育成プロジェクト」を立ち上げ、科学研究実践活動を行う生徒や指導に当たる教員に対する支援を行っています。

その一環として、12月12日（土）、山形国際交流プラザ山形ビッグウイングにおいて、「山形県高等学校サイエンスフォーラム」が開催されました。理数教育や産業教育、探究型学習において科学研究に熱心に取り組んでいる高校生が、日頃の研究成果の発表を行い、今後の研究の質的向上と内容の深化を図ることを目的とする研究発表会です。理数科を設置している3校をはじめとして、県内6校から55チームが参加して、課題研究等に関する科学研究のポスター発表を行いました。

西高からは、「放課後実験倶楽部」に所属して研究活動を行っている1年生6名が参加し、2チームに分かれて、日頃の研究の成果を発表しました。

<研究テーマ>

テーマ1：動物の光に対する反応

テーマ2：メキシコサンショウウオの性ホルモンの進化について

参加したどのチームも、日頃の研究成果を堂々と発表しました。発表後は、サイエンスコーチからの助言を受け、今後の研究の方向性を明確にしました。

審査の結果、西高からは、上述の「テーマ1」について発表したチームが、生物領域で優良賞を受賞し、今後の研究活動への励みとなりました。

